

令和 4 年度がスタート～子どもたちのための取り組みについて 令和 4 年 4 月

新年度がスタートしました。今月の「あしかがみ」に予算の概要について掲載しましたとおり、8つの重点項目を設定し優先的に予算配分をしましたが、その中から「子ども」に関することについてお知らせしたいと思います。

日本全体が人口減少に突入し、かつ大都市部への偏在の是正が進まない中であって、子どもたちは将来の宝です。子どもや孫が“安心して穏やかに暮らしていけるように”というのは、市民共通の想いであり、願いであると思います。

足利の子どもたちが、心身ともに健やかに成長していくこと、自分の目標を見つけ、挑戦できること、そして、子どもたちの将来の可能性を拓けていくことは、まちづくりを進めていく上で強く求められていると感じています。

同時に、子育て世代（世帯）はまだまだ経済的にも不安定であり、子育てへの不安も抱えていることから、いわゆる出会いから結婚、妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援を行い、子育て世代（世帯）に着目した支援策・対策も必要であると思います。

具体的には、◇子どもたちが安心して登下校できる通学路の整備◇放課後児童保育の充実◇子ども医療費の窓口無償化を高校 3 年生まで拡大◇親子歯科検診の復活◇子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成◇すこやか保育（特別支援）への支援拡充◇結婚新生活のための資金的支援、等を事業化しました。

他にも、松田川ダムキャンプ場を民間委託し、魅力を増して家族で楽しめるものにしていきますし、市内の公園にある遊具を新しいものに更新していきます。

また、昨年度実施したプログラミング講座の他に、金融経済を学ぶ「金融リテラシー」講座も行い、子どもたちの将来の可能性を拡げられる事業を展開していきたいと考えています。

足利市全体として、子どもたちを大切にする、子どもたちを優先に考える、そんなあたたかいまちにしていきたいと願っています。

過去から現在、そして未来へと続く足利市の姿と一緒に考え、次代を担う子どもたちへとつないでいきますように精一杯取り組んでまいります。